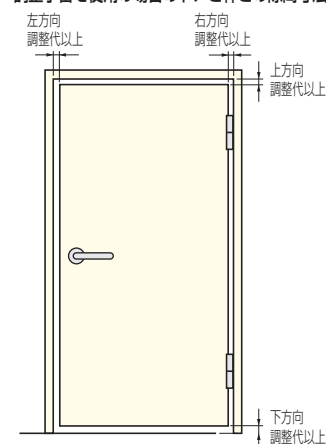


Q5 調整丁番を使用するときの設計上の注意点を教えてください。

A5 建具を設計する際に、ドアと枠に「調整代」分の隙間をあらかじめ見込んでください。この隙間寸法の設定が少なく、調整機能が十分に発揮できません。調整丁番の調整範囲は下表のとおりですので、これが「調整代」分の隙間寸法となります。

	上下	左右
建具用木口かくし丁番	±2.5mm	+5mm (3mm~8mm)
3方向調整丁番	±2.5mm	±2.5mm
調整機構付き丁番N17型6R	±2.5mm	±2.5mm

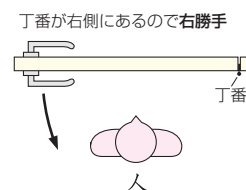
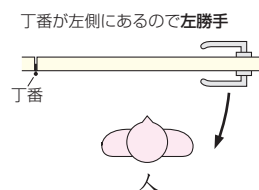
調整丁番を使用した場合のドアと枠との隙間寸法



Q6 金具の左右勝手についてはいろいろな説があるようですが、調整丁番の左右勝手について教えてください。

A6 金具の左右勝手については、全国的に統一されたものはなく、各社各様で取り決めているのが現状です。弊社の調整丁番については、左右勝手を下記のように取り決めています。
左勝手とは、ドアが手前に開く側から見て、左側に丁番が付く場合を指します。
右勝手とは、ドアが手前に開く側から見て、右側に丁番が付く場合を指します。

丁番の左右勝手



Q7 枠が薄く、枠側に左右調整プレートを埋め込めないときは？

A7 通常の調整機構付き丁番は、枠側に左右調整のためのプレートを掘込んで取付けます。しかしご質問のように、枠が薄いため左右調整プレートを埋め込んでも十分な木ねじ取付強度が得られないケースもあります。弊社では、このようなケースにも対応できるように、ドアの木口面に調整プレートを取付ける「3方向調整丁番」をご用意しています。

